



環境にやさしい メリット1

1人を1km運ぶのに排出される二酸化炭素の量は、バスや鉄道は、自家用車に比べおよそ9分の1～3分の1です。大気汚染や地球温暖化の防止のためにも、公共交通は有益です。

健康増進 メリット2

自動車から公共交通の利用に替えることで、自然と運動量が増えます。自動車で移動するには、車両や自動車運転免許が必要ですが、公共交通は誰もが手軽に利用できます。自動車を運転できない人たちの外出機会が増えることで、健康増進が期待できます。

安全で快適 メリット3

みんなが公共交通を利用すれば、交通量が減り、交通事故の減少が期待できます。また、乗車中は読書をしたり景色を眺めたり、時間を有効に活用できます。

家計にやさしい メリット4

マイカーを所有するには、車両のほかに、税金、保険、ガソリン代などの経費が掛かります。例えば、1500ccの乗用車を所有し、片道13kmの道のりを通勤した場合、1日あたり1,840円の経費がかかると試算されます。バスで通勤すると運賃は1,360円です。一日の差は480円ですが、年間241日通勤した場合、11万5,000円もバスで通勤した方がお得です。

私にとってバスは生活の一部です。
和田正子さん(本沼)

病院の帰りに買い物などをして、芦の口行きバスを利用していただきます。バスに乗ることは、停留所まで歩いたりするので、ストレスの解消や健康管理にも役立っています。高齢者にとってバスは通院や買い物をするためのもとても大切な移動手段であり、私にとってもバスは生活の一部です。



バスは子どもと楽しめる優れものです。
坂井純子さん(中田)

子どもがまだ10か月なので、車よりバスを利用することが多いですね。今日はバスを利用して、マイタウン白河での「おひさま広場」に参加しました。子どももバスに乗り、大興奮でした。小さな子どもを持つお母さんにとってバスは、子どもの様子を見ながら、一緒に乗ることを楽しめる優れものです。



いろんな方にバスを利用してほしいです。
遠藤公大さん(白河高1年)

学校へ行くときは、刈敷坂停留所(東深仁井田)から新白河駅行き午前7時28分のバスを利用していただきます。多くの学生は、バスなしでは通学できないので、いろんな方にバスを活用してほしいですね。帰りは、石川営業所行き最終便が午後6時50分なので、さらに遅い便があるので、便利だと思います。



その結果、路線の廃止が進み、公共交通の持つ利便性が失われてしまいました。当然のことながら、私たちは安全な運行やサービスの向上はもとより、エコ運動の実践、コスト削減や運行の再編、学生向けの片道定期券の発行など、より良いバス環境づくりに取り組んでいます。厳しい中でも利用者のニーズに合わせた試みを続けたいと考えています。最終的には、バスを利用する皆さんの意思に懸っています。利用者が多ければ、増便という形になり、バスの利便性がさらに向上します。私たちはずっとバスを走らせたいと考えています。どうか、皆さんにバスを大切にしてくださいながら、始発から最終便までたくさん利用していただきたいと思います。



◎特集 どうなる「路線バス」!?

The bus on a regular route in Shirakawa

もっと、もっとバスを利用しましょう



利用者が少ないのが一番の問題であると分かりました。皆さんが積極的にバスを利用することによって、安全・安心でにぎわいのあるまちづくりを支える地域間交通手段となります。ここでは、公共交通事業者やバス利用者インタビューして、路線バスの大切さを再認識してみました。

バスの利用者が多くなれば、バスの利便性が向上します。



福島交通(株)白河総括営業所長 阿部由秋さん

バスを運行していくには、まずは利用していただくことを第一に考えています。私たちは、「公共交通への回帰」をテーマとして日々努力をしています。

しかしながら、赤字路線については、行政から補助をいただいてもなお、大変厳しい状況にあります。

その要因は、バスの利用者として期待している学生の数が減っていることや、今、各家庭に2台から3台の自家用車があることなどにより、バス離れが進んだことが挙げられます。